

(2) 麻薬・覚せい剤取扱者数

麻薬・覚せい剤取扱者数の推移

(平成23年12月31日現在)

業種別		年	18	19	20	21	22	23	
麻薬取扱者	家庭麻薬製造業者		19	19	18	18	18	20	
	麻薬卸売業者		9	9	9	9	10	10	
	麻薬小売業者		239	249	269	280	302	327	
	麻薬管理者		118	145	148	147	144	151	
	麻薬施用者		2,115	2,306	2,331	2,358	2,413	2,421	
	麻薬研究者		41	87	80	69	67	64	
	計		2,541	2,815	2,855	2,881	2,954	2,993	
	麻薬診療施設	病院		79	77	71	74	74	74
		一般診療所		333	384	370	384	399	408
		歯科診療所		2	2	1	2	2	1
飼育動物診療施設			4	89	91	86	85	83	
計			418	552	533	546	560	566	
けし・大麻取扱者	けし耕作者		0	0	0	0	0	0	
	けし研究者		0	0	0	0	0	0	
	大麻研究者		4	4	4	4	5	4	
	大麻栽培者		3	3	0	0	0	0	
	計		7	7	4	4	5	4	
覚せい剤等取扱者	覚せい剤施用機関	国の指定	0	0	0	0	0	0	
		県の指定	1	0	0	0	0	0	
	覚せい剤研究者		6	5	5	5	6	5	
	覚せい剤原料取扱者		55	55	55	55	54	55	
	覚せい剤原料研究者		53	53	56	57	58	59	
	計		115	113	116	117	118	119	

(3) 家庭麻薬製造状況

県内の家庭麻薬製造業者は18社で、原料麻薬(ジヒドロコデインリン酸塩)の消費量及び製造品目数は下表のとおりである。

家庭麻薬製造業者の原料麻薬消費量及び製造品目数推移

年	製造業者数	総合感冒薬		鎮咳去痰薬		合計	
		数量(g)	品目数	数量(g)	品目数	数量(g)	品目数
18	19	235,520	24	27,120	18	262,640	42
19	19	263,100	35	19,540	19	282,640	54
20	18	253,860	30	27,370	20	281,230	50
21	18	185,450	26	29,120	18	214,570	44
22	18	317,220	29	26,760	22	343,980	51
23	18	265,200	23	34,820	16	300,020	39

(4) 麻薬卸売業者の麻薬譲渡状況

県内麻薬卸売業者（9業者）の麻薬診療施設への譲渡数量は、下表のとおりである。

麻薬卸売業者の麻薬譲渡数量

品名	単位	年					
		18	19	20	21	22	23
あへんチンキ	ml	5,600	5,200	6,325	3,675	1,550	1,600
アヘンカロイド・アトピン注	A	390	470	360	360	420	360
モルヒネ塩酸塩水和物	g	85	190	160	230	140	70
モルヒネ塩酸塩錠	錠	2,500	5,200	4,500	5,880	22,000	21,680
モルヒネ塩酸塩注(10mg)	A	21,360	17,040	14,050	17,420	16,330	14,320
モルヒネ塩酸塩注(50mg)	A	2,885	2,205	1,305	7,160	1,530	2,030
モルヒネ塩酸塩注(200mg)	A	565	405	1,500	2,560	2,015	295
プレバノン50mg注シリンジ	本	3,080	3,095	1,045	675	910	940
プレバノン100mg注シリンジ	本	(3,080)	(3,095)	(1,045)	245	180	530
コデインリン酸塩水和物	g	150	100	40	25	5	0
コデインリン酸塩散10%	g	21,650	17,300	17,500	14,900	14,700	13,350
コデインリン酸塩錠	錠	6,050	8,300	12,100	9,800	17,000	17,000
ジヒドロコデインリン酸塩	g	95	5	280	325	890	540
ジヒドロコデインリン酸塩散10%	g	50	0	50	0	50	0
コカイン塩酸塩	g	30	25	30	25	30	20
ペチジン塩酸塩注(35mg)	A	970	1,180	1,650	1,610	1,580	1,600
ペチジン塩酸塩注(50mg)	A	3,260	3,650	4,050	4,510	5,590	5,740
ペチロルファン注	A	200	160	150	100	150	110
弱ペチロルファン注	A	170	200	10	0	0	0
フェンタニル注0.1mg	A	76,860	82,610	93,590	97,410	85,080	88,920
フェンタニル注0.25mg	A	980	1,755	6,550	7,525	10,570	13,270
フェンタニル注0.5mg	A				3,075	12,090	11,880
MSコンチン錠(10mg)	錠	57,300	40,400	29,300	27,300	22,000	22,000
MSコンチン錠(30mg)	錠	13,000	16,500	11,000	8,000	7,300	9,200
MSコンチン錠(60mg)	錠	2,000	500	0	0	500	100
アンベック坐剤(10mg)	個	11,000	10,000	12,250	9,300	6,900	6,750
アンベック坐剤(20mg)	個	5,550	4,300	3,350	2,650	2,250	2,450
アンベック坐剤(30mg)	個	90	120	390	1,010	960	1,380
オプソ内服液 5mg	包	260,00	31,760	42,220	37,460	46,540	49,560
オプソ内服液10mg	包	28,220	26,800	32,680	39,900	29,560	24,540
カディアンカプセル(20mg)	個	4,950	1,850	1,900	900	0	0
カディアンカプセル(30mg)	個	1,200	250	600	150	0	0
カディアンカプセル(60mg)	個	150	50	0	50	150	0
カディアンスティック粒30mg	包	900	100	200	0	50	100
カディアンスティック粒60mg	包	0	0	0	0	0	0
カディアンスティック粒120mg	包	100	0	0	0	0	0
MSツワイロンカプセル10mg	C	400	1,080	120	1,280	80	880
MSツワイロンカプセル30mg	C	0	0	0	40	80	80
MSツワイロンカプセル60mg	C		200	540	120	0	0
複方様シドン・アトピン注	A	30	30	20	20	40	500

品名	単位	年					
		18	19	20	21	22	23
オキシコチン錠 5mg	錠	169,400	212,900	223,500	227,000	274,100	260,300
オキシコチン錠10mg	錠	3,600	5,600	18,100	15,000	17,700	21,200
オキシコチン錠20mg	錠	43,350	47,100	75,000	60,800	61,300	54,900
オキシコチン錠40mg	錠	3,200	9,200	7,500	23,800	24,600	18,600
モルベス細粒2%(0.5g)	包	120	160	5,040	23,840	13,840	13,640
モルベス細粒6%(0.5g)	包	160	0	0	120	400	480
デュロテップパッチ2.5mg	枚	19,200	21,060	16,340	395	-	-
デュロテップパッチ5.0mg	枚	4,630	5,090	4,010	105	-	-
デュロテップパッチ7.5mg	枚	3,285	3,405	1,900	15	-	-
デュロテップパッチ10mg	枚	2,845	2,495	2,400	10	-	-
デュロテップMTパッチ2.1mg	枚			4,705	13,805	13,970	16,975
デュロテップMTパッチ4.2mg	枚			6,715	18,060	17,675	16,940
デュロテップMTパッチ8.4mg	枚			2,875	5,200	4,565	3,955
デュロテップMTパッチ12.6mg	枚			1,235	3,230	2,095	865
デュロテップMTパッチ16.8mg	枚			1,610	3,385	2,120	1,235
ピーガード錠20mg	錠	970	42	150	856	950	150
ピーガード錠30mg	錠	2,422	4,728	876	3,478	3,250	1,064
ピーガード錠60mg	錠	250	0	0	0	0	0
ピーガード錠120mg	錠	630	14	0	450	0	0
パシーフカプセル 30mg	C	6,500	8,100	4,150	2,950	3,650	1,350
パシーフカプセル 60mg	C	500	300	400	850	1,300	400
パシーフカプセル 120mg	C		250	550	1,250	50	120
オキノーム散2.5mg(オキノーム散0.5%)	包		1,710	13,170	23,580	36,420	49,770
オキノーム散5mg(オキノーム散0.5%)	包		13,800	46,200	97,800	113,940	138,360
オキノーム散10mg(オキノーム散0.5%)	包				3,300	17,580	13,380
アルチバ静注用 2mg	A		7,420	10,340	13,215	15,910	21,175
アルチバ静注用 5mg	A		3,970	6,405	5,965	6,040	3,830
ケタラール静注用50mg	V					205	510
ケタラール静注用200mg	V		1,780	1,932	1,693	1,040	1,070
ケタラール筋注用500mg	V		1,547	2,234	1,975	1,708	1,545
ケタミン注5%	A				17	12	6
ケタミン注10%	A				55	80	60
フェントステープ1mg	枚					1,386	6,825
フェントステープ2mg	枚					1,414	8,141
フェントステープ4mg	枚					245	1,330
フェントステープ6mg	枚					196	1,330
フェントステープ8mg	枚					91	91
ワンデュロパッチ0.84mg	枚						5,404
ワンデュロパッチ1.7mg	枚						1,596
ワンデュロパッチ3.4mg	枚						1,309
ワンデュロパッチ5mg	枚						203

単位 A:アンプル g:グラム C:カプセル V:バイアル

平成23年度 奈良県薬物乱用防止啓発活動実施状況

奈良県医療政策部薬務課

1. 不正大麻・けし撲滅運動（平成23年5月1日～平成23年6月30日）

- ポスター・パンフレット等の配布
不正大麻・けし撲滅運動の県民への周知のため、ポスター等の配布を行った。
→ 各市町村、医師会、歯科医師会、薬剤師会、各警察署等
- 不正大麻・けしパトロールの実施
→ 不正大麻・けしの発見、除去のために県内を巡回し、パトロールを行った。

◇不正けし栽培（自生）発見の推移

年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
発見件数	30	16	10	10	8
発見本数	1,303	864	638	3,503	167

◆平成23年度 発見（件数及び本数）の内訳 <市町村別>

発 見 場 所	奈 良 市	橿 原 市	御 所 市	生 駒 郡	磯 城 郡	高 市 郡	合 計
発 見 件 数	2	1	1	1	1	2	8
発 見 本 数 <株>	4	2	1	5	1	154	167

2. 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動（平成23年6月20日～平成23年7月19日）

- 街頭キャンペーンの実施
→ 6・26ヤング街頭キャンペーンとして、平成23年6月26日（日）にイオンモール大和郡山において実施した。
- ポスター・パンフレット等の配布
→ 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の県民への周知のために各種の地域団体に対してキャンペーン用のポスター等を配布した。
各市町村、薬事関係団体、医師会、歯科医師会、薬剤師会、各警察署等、各ライオンズクラブ、各ロータリークラブ、ボーイスカウト、ガールスカウト
- 広報誌等による啓発
→ 奈良テレビ放送等において6・26ヤング街頭キャンペーン（イオンモール大和郡山）の様子が放映・掲載される等、マスメディアを通じた啓発を行う事ができた。
- 国連支援募金
「ダメ。ゼッタイ。」普及運動と併せて、薬物乱用防止活動を実施している世界のNGOに国連を通じて援助する目的のため、キャンペーン会場において街頭での募金活動を行うとともに、地域団体に対しても同様の募金の協力を求めた。

3. 麻薬・覚せい剤乱用防止運動（平成23年10月1日～平成23年11月30日）

- 街頭キャンペーンの実施
→薬物乱用防止街頭キャンペーンとして、平成23年11月23日（水）に、イオンモール橿原においてキャンペーンを実施した。
また、この際、薬物乱用防止に功績のあった方々へ表彰状の贈呈を行うとともに、奈良県警察音楽隊の演奏等も実施した。
- ポスター・パンフレット等の配布
→麻薬・覚せい剤乱用防止運動の県民への周知のために各種の地域団体に対してキャンペーン用のポスター等を配布した。
各市町村、薬事関係団体、医師会、歯科医師会、
薬剤師会、各ライオンズクラブ、各ロータリークラブ、
ボーイスカウト、ガールスカウト、民生児童委員連合会
- 広報誌等による啓発
→奈良テレビ放送等において薬物乱用防止街頭キャンペーンの様子が放映・掲載される等、マスメディアを通じた啓発を行う事ができた。

4. 薬物乱用防止指導員活動

- 奈良県薬物乱用防止指導員の委嘱状況
総数 325名
・民生児童委員：120名
・学校薬剤師：77名
・登録販売者：50名
・保護司：46名
・ライオンズクラブ18名
・少年補導員：14名
- ◆平成23年9月9日（金）上記指導員に対する研修会を実施。
講師 奈良県保護観察所統括保護観察官 寺田 大介
演題 「更生保護の現状と課題」
- 薬物乱用防止指導員を通じての啓発
・市町村などにおいて実施されている各種の集会・研修会等でパンフレット、リーフレット及び啓発物品等を配布している。
・薬物乱用防止啓発に関するキャンペーンなどに参加することで県民に対して薬物乱用防止の啓発を行っている。
・薬物乱用防止指導員が小学校・中学校において薬物乱用防止教室を行って啓発活動を行っている。

5. 学校等啓発講演会

◇奈良県立大学（県警合同）	－薬物乱用防止教室－	（平成23年 4月 8日）
◇王寺町立王寺中学校	－薬物乱用防止教室－	（平成23年 7月11日）
◇田原本町立田原本小学校	－薬物乱用防止教室－	（平成23年 7月12日）
◇奈良保育学院	－薬物乱用防止教室－	（平成23年 8月22日）
◇帝塚山大学	－薬物乱用防止教室－	（平成23年 9月16日）
◇奈良県立医科大学	－麻向法関係講義－	（平成23年10月25日）
◇歯科衛生士専門学校	－薬物乱用防止教室－	（平成24年 2月29日）

6. 大学等の大学祭を利用した啓発活動

献血啓発も含めた形で、薬物乱用防止パネル等を展示できるスペースを大学側に確保していただき、学園祭の中で一つの献血・薬物乱用防止啓発ブースとして、学生主体の下で、学生等の学園祭参加者に目を通していただく。このことで、より多くの方々に観覧していただけたら考える。

<実施大学>

◇帝塚山大学	◇近畿大学農学部	◇奈良大学
◇奈良産業大学	◇天理大学	◇奈良県立医科大学
◇奈良教育大学	◇白鳳女子短期大学	◇奈良佐保短期大学
◇奈良文化女子短期大学	◇奈良工業高等専門学校	

7. 薬物相談窓口の設置

県下6保健所(奈良市保健所含む)及び精神保健福祉センター、薬務課での相談窓口において薬物に関する相談を実施。

	来所相談	電話相談	相談(その他)	計
葛城保健所	1	0	5	6
桜井保健所	0	0	0	0
郡山保健所	2	1	0	3
吉野保健所	0	1	0	1
内吉野保健所	0	0	0	0
精神保健福祉センター	0	2	0	2
奈良市保健所	1	2	0	3
薬務課	2	6	0	8
合計	6	12	5	23

◇相談薬物の内訳(※重複含む)

- ・覚せい剤 : 9件
- ・麻薬 : 1件
- ・大麻 : 1件
- ・有機溶剤 : 0件
- ・脱法ドラッグ : 9件
- ・その他薬物等 : 4件

◆過去相談件数

- ・平成22年度 : 32件
- ・平成21年度 : 24件
- ・平成20年度 : 20件
- ・平成19年度 : 25件

※平成21年度より薬務課においての相談件数も計上しております。